

学科 学年	D 3	科目 分類	C 言語基礎演習 [C 基演] Basic Practice of C Language	演習 必修	前期 1 履修単位	学習教育 目標 B	担当	牛丸 真司 USHIMARU Shinji 大庭 勝久 OHBA Katsuhisa
概 要	プログラミングの基礎概念を理解し、初歩的なCプログラミング技術を習得する。 PCでの演習を中心とし、実践的な応用力を身に付ける。 授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。							
科目目標 (到達目標)	(1)ポインタの概念を理解して、ポインタを用いたデータ参照ができること。 (2)関数の概念を理解して、ユーザー関数を作成しデータの引渡しができること。 (3)構造体の概念を理解して、異なる型のデータを一つの集合体として取り扱うことができること。 (4)データ型および型変換について理解し、異なる型のデータを含んだ計算ができること。 (5)C言語の基礎的なプログラミングを習得し、数値演算関数を用いて、初歩的な数値計算（数値積分等）ができること。							
教科書 器材等	「入門ソフトウェアシリーズ1 C言語」河西 朝雄 著（ナツメ社）							
評価の基準と 方法	前期中間試験40%、前期期末試験40%、課題レポート20%として評価する。 60%以上を合格とする。							
関連科目	プログラミング入門							
授業計画								
	参観	（授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。）						
第1回	×	ポインタ1 :ポインタと文字列、ポインタと一次元配列						
第2回		ポインタ2 :ポインタによる配列表現、ポインタと二次元配列、ポインタ配列						
第3回		関数1 :関数とは、値による呼び出し、参照による呼び出し						
第4回		関数2 :一次元配列を渡す、ポインタ配列を渡す、関数プロトタイプ						
第5回		構造体1 :構造体とは、構造体配列						
第6回		構造体2 :構造体の一括代入、構造体へのポインタ						
第7回		データ型1 :データ型、符号付き数と符号なし数、enum型						
第8回		前期中間試験						
第9回		データ型2 :型変換とキャスト						
第10回		記憶クラス :記憶クラス、通用範囲						
第11回		変数と初期化:静的変数、外部変数、初期化						
第12回		プリ・プロセッサ:プリ・プロセッサとは、単純なマクロ、引数付きマクロ						
第13回		マクロ :マクロと関数、数値演算関数						
第14回		ファイル処理:ファイル処理関数、書式付きファイル入出力						
第15回		前期期末試験						
オフィス アワー	授業実施日の15:00～17:00、試験の前1週間は曜日を問わない。							
授業アンケート への対応	板書をした後、少し間をおいて説明するように心掛ける。							
備 考	授業に関する質問は、ooba@numazu-ct.ac.jpへのメールでも受け付ける。							
更新履歴	060112 新規							